

## 10. Green Supply Chain Management による全社を通じた CO<sub>2</sub> 削減政策（ハンブルグ）

トピック：輸送手段の転換による CO<sub>2</sub> 削減の成功

### 特徴

輸送手段に着目し、CO<sub>2</sub> を排出しやすい航空機やトラックから、排出しにくい船舶にシフトすることで、大幅な CO<sub>2</sub> 削減を試みた。

#### <プロジェクトの背景と意義>

ドイツの郵便配達業者である‘Otto Versand’は、1993 年には、国際的な郵便配達に関する業務において 184,000 トンの CO<sub>2</sub> を排出した。

その後、CO<sub>2</sub> を削減すべく、これまで利用してきた航空機やトラックなどの CO<sub>2</sub> を排出しやすい輸送手段から、排出しにくい船舶に切り替えるという「Green Supply Chain Management プロジェクト」に取り掛かり、この船舶という輸送手段を最大限に活用する戦略を採用した。その結果、この戦略をはじめとして他の手段も講じたために、1993 年から 99 年の間に、年間 40% の CO<sub>2</sub> 削減を達成するに至った。

#### <当該政策による CO<sub>2</sub> 削減量とコスト削減の具体的事例>

トルコのマーケットにおいて

輸送委託商品全体の 5% について、輸送手段をトラックから船舶へ変更したところ、0.16 トンの CO<sub>2</sub> 削減につながり、商品 1 トンあたり 300 ドイツマルク（DM）のコストを削減することができた。

香港のマーケットにおいて

専ら空輸に頼っていた輸送委託商品全体の 8% を、船舶と航空機の両方の手段を用いて輸送する方式に転換したところ、2.8 トンの CO<sub>2</sub> 削減につながり、商品 1 トンあたり 1800 ドイツマルク（DM）のコストを削減することができた。

#### <効果・結論>

迅速な対応やジャスト・イン・タイムが求められる現代において、ここで取り上げた政策を導入することで、輸送に関する新たなロジスティクスを構築し、同時に、低エネルギー消費型かつ船舶のような CO<sub>2</sub> 排出量の少ない輸送手段を用いることにより、CO<sub>2</sub> 削減のみならず輸送コストの削減をも達成し得ると考えられる。

・(仮訳)

・(出典) Synthesis Report of the OECD project on Environmentally Sustainable Transport EST presented on occasion of the International est! Conference 4th to 6th October 2000 in Vienna, Austria.